



Ariba® ネットワーク お取引先様ガイド

DB Schenker と取引するためのお客様のご案内

ようこそ Ariba ネットワークへ！

取引先様として Ariba® ネットワークへのご参加おめでとうございます。今、400 万社が参加するグローバルネットワークの一員となりました。御社のような大手企業へ、Ariba ネットワークエンタプライズアカウントを活用して頂き、ビジネスの成長、業務効率の向上、顧客へのより良いエクスペリエンスの提供を実現しています。

取引先様カウントは、お客様との取引をできるだけ簡単に行えるように設計されています。DB Schenker の Ariba® ネットワークアカウントの使用方法についてトレーニングを受け、開始するには、以下の手順に従ってください。:

1



「取引先様トレーニングページ」(Link)をご覧ください。

お取引先様カウントの設定と操作方法については、お取引先様トレーニングのページで詳細をご確認ください。上記のハイパーリンクが機能しない場合は、代わりに以下のリンクをブラウザにコピー&貼り付けしてください。

https://support.ariba.com/Adapt/Ariba_Network_Supplier_Training/

2



DB Schenker との取引の詳細を確認する。

DB シェンカーとの取引に関する詳細を確認する 本文書を必ず読み、顧客によって設定されたすべてのビジネス固有のアクションおよび要件に精通してください。この文書は、当社のお取引先様・トレーニング・ページの詳細な内容をナビゲートするのに役立ちます。

Ariba® ネットワークの利用が成功することを祈っています。

TABLE OF CONTENTS

DB SCHENKER のプロジェクト範囲	1
アカウント設定	2
ネットワーク上での取引	2
注文確認に関する詳細	2
サービスシートに関する詳細	エラー! ブックマークが定義されていません。2
出荷通知に関する詳細	2
請求書に関する詳細	2
ヘルプ & サポート	3

DB SCHENKER のプロジェクトの範囲

このセクションでは、Ariba Network を通じて取引されるドキュメントを記載します。これらの中には、必須となるものもあれば、単に関連性があれば利用できるものもあります。

サポートされているドキュメント Ariba ネットワークとの関係上	サポートされていないドキュメント Ariba ネットワークとの関係上
<ul style="list-style-type: none"> ● 発注書 ● DB Schenker からの発注書は Ariba Network 経由で送付 ● ブランケットオーダー DB Schenker からの BPO(ブランケットオーダー)は、Ariba Network を通じて送信され、ブランケットオーダーの発注書は一定期間一定の予算を保持し、予算に達するまでブランケットオーダーに対する請求書を作成する ● 注文確認書 発注書、ブランケットオーダーまたは明細アイテム全体に適用 ● 船舶通知 アイテム発送時に、発注書に適用 ● 請求書 発注書または明細アイテム全体に適用 <ul style="list-style-type: none"> ○ 一部請求書 ○ 一括請求書 ブランケットオーダーに対する請求書 ● クレジット請求書/クレジットメモ 明細レベルクレジット;数量調整 	<ul style="list-style-type: none"> ● サマリまたはひとまとめでの請求書 複数の注文書に適用 ● 請求書の複製 各請求書には、新しく個々の請求書番号を記載する必要があります。また、過去に AN で失敗/却下となった請求書を訂正して、再提出しない限り、重複請求書は却下される。 ● 電子メールまたは用紙を通して提出された請求書 DB Schenker は、電子メール経由での紙や PDF の請求書を受け付けないため、請求書は Ariba Network を通じて電子的に提出することが必要。 ● 発注書がない請求書 発注書、ブランケットオーダー、契約書と連動していないもの ● サービスシートと連動したサービス請求書 サービスの注文は材料の注文と同じプロセスとなる ● 購入カードの請求書発行(Pカード) 購入カードを利用して発注した場合の請求書

アカウントの設定

DB Schenker との取引を成功させるための最低要件として、Ariba Network アカウントに設定する必要があるものについて説明します。

「取引先様トレーニングページ([Link](#))」のアカウント管理のうち、すくなくとも次の章を完了していることを確認してください。

- プロファイルの完成
- メール通知の設定
- 有効化タスクの完了
- 電子受注ルーティング方式を選択
- 電子請求書ルーティング方法と税務の詳細の選択
- 送金先住所、銀行情報、支払方法の設定
- テストアカウントの設定(電子カタログを公開する場合、または、統合プロジェクトを開始する場合のみ)

ARIBA ネットワークでの取引

このセクションでは、アカウントが設定された後に、Ariba ネットワーク上で DB Schenker と取引する場合の具体的な方法について説明します。詳細な手順については、「取引先様トレーニングページ([Link](#))」の「取引」を参照してください。

注文書確認に関する詳細

- 注文書の確認はサポートされていますが、必須ではありません。
- シェンカーは、ネットワークとの連携とトレーサビリティを改善するために、注文書の確認を送付することを推奨します。
- 取引先様では納期を変更してはなりません。変更が必要な場合は、発注依頼者またはファクトリースケジューラまでお問い合わせください。
- 条件が満たされない場合(例えば、価格、数量、VAT、納期など)、または発注書に誤りがある場合は、変更内容を確認し、調整後の発注書を再提出するよう発注依頼者へ依頼してください。

出荷通知に関する詳細

- 出荷通知はサポートされていますが、必須ではありません。
- シェンカーは、連携とトレーサビリティを向上させるために、高度な船舶通知を送付することを推奨しています。

請求書に関する詳細

ここでは、取引先様が請求書について遵守すべき具体的な取引ルールを紹介します。複数の請求書の発行方法に関する詳しい説明は、「取引先様トレーニングページ([Link](#))」の「請求書作成」を参照してください。

- 明細情報は発注書から選択します。商品やサービス、通貨、価格、単位または品番を変更することはできません。数量を増やすことはできません。
- 発注書とは違うおよび追加の明細を請求書に追加することはできません。
- ゼロ税率の場合、請求書に説明が必要です。
- 取引先様は、各請求書に銀行口座の詳細を入力する必要があります。この情報は、複数の送金先アドレスを保存できる取引先様カウントプロファイルに登録することができます。
- ライン明細レベルに関する追加情報: リースまたはレンタルなど、発注書に対して毎月請求書を発行する場合は、明細レベルの「明細レベルテキスト」に、対応する請求書がどの月かまたは、サービス期間になるかを追加してください(例: 2021 年 2 月または 2021 年 2 月 - 3 月)。

- 明細レベルの基準日(納入日):実際に商品が納入された日付、またはそれぞれのサービスが実施された日付をここに入力してください。
- 提出された請求書をキャンセルすることはできないので、クレジットメモを送付する必要があります。

クレジットメモは、既存の Ariba の請求書と注文書を参照する必要があります。Ariba の請求書から作成できます。クレジットメモごとに理由(必須項目)を記入する必要があります。

ヘルプ & サポート

Ariba Network の使用に関してサポートが必要な場合は、当社のドキュメントを参照するか、Ariba Network アカウントのヘルプセンターから直接当社のサポートチームにご連絡ください。また、このお問い合わせフォームから当社のイネーブルメントチームに連絡することもできます。

ビジネスプロセスに関するサポートが必要な場合は、DB Schenker の通常の担当者、または発注書のヘッダーに名前が記載されている発注作成者にご連絡ください。

www.sap.com/contactsap

©2020 SAP SE または SAP の関連会社。無断転載を禁じます。
本書のいかなる形式でも、SAP SE または SAP の関連会社の事前許可なく、目的を問わず複製または送信することはできません。

本資料に記載された情報は、予告なく変更することがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれていません。各国の製品仕様は異なる場合があります。

これらの資料は、情報提供のみを目的として、いかなる種類の表明または保証も伴わず、SAP SE または SAP の関連会社によって提供され、SAP またはその関連会社は、当該資料に関する錯誤または脱落について責任を負わないものとします。SAP または SAP の関連会社の製品およびサービスについての保証は、そのような製品およびサービスがあれば、それに付随する明示的保証書に記載されているもののみです。本書のいかなる内容も、追加の保証を提供するものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、本文書または関連プレゼンテーションに概説されている業務のいかなる過程も遂行し、また、本文書に言及されている機能を開発またはリリースする義務を負いません。本文書、または関連するプレゼンテーション、SAP SE またはその関連会社の戦略、将来の可能な開発、製品、および/またはプラットフォームの方向性および機能性はすべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社が予告なしにいつでも変更する可能性があります。本書に記載されている情報は、材料、コード、または機能性を提供するという約束、約束、または法的義務ではありません。すべての将来予想に関する記述は、さまざまなリスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績は予想と大きく異なる可能性があります。読者の方々は、これらの将来見通しに関する記述に過度に依存しないよう注意しており、お買い上げの際には信頼されるべきではありません。

SAP およびここに言及されているその他の SAP 製品およびサービス、ならびにそれらのロゴは、ドイツおよび他の国々 SAP SE (または SAP の関連会社) の商標または登録商標です。その他記載されている製品名およびサービス名は、それぞれの会社の商標です。商標に関する追加情報やお知らせは www.sap.com/copyright をご覧ください。